

福岡市美術館 季刊誌

エスプラナード

APRIL, 2021

ESPLANADE

FUKUOKA ART MUSEUM



はるきぬ

203

見 て か ら

所蔵品紹介

水ナス？
丸ナス？

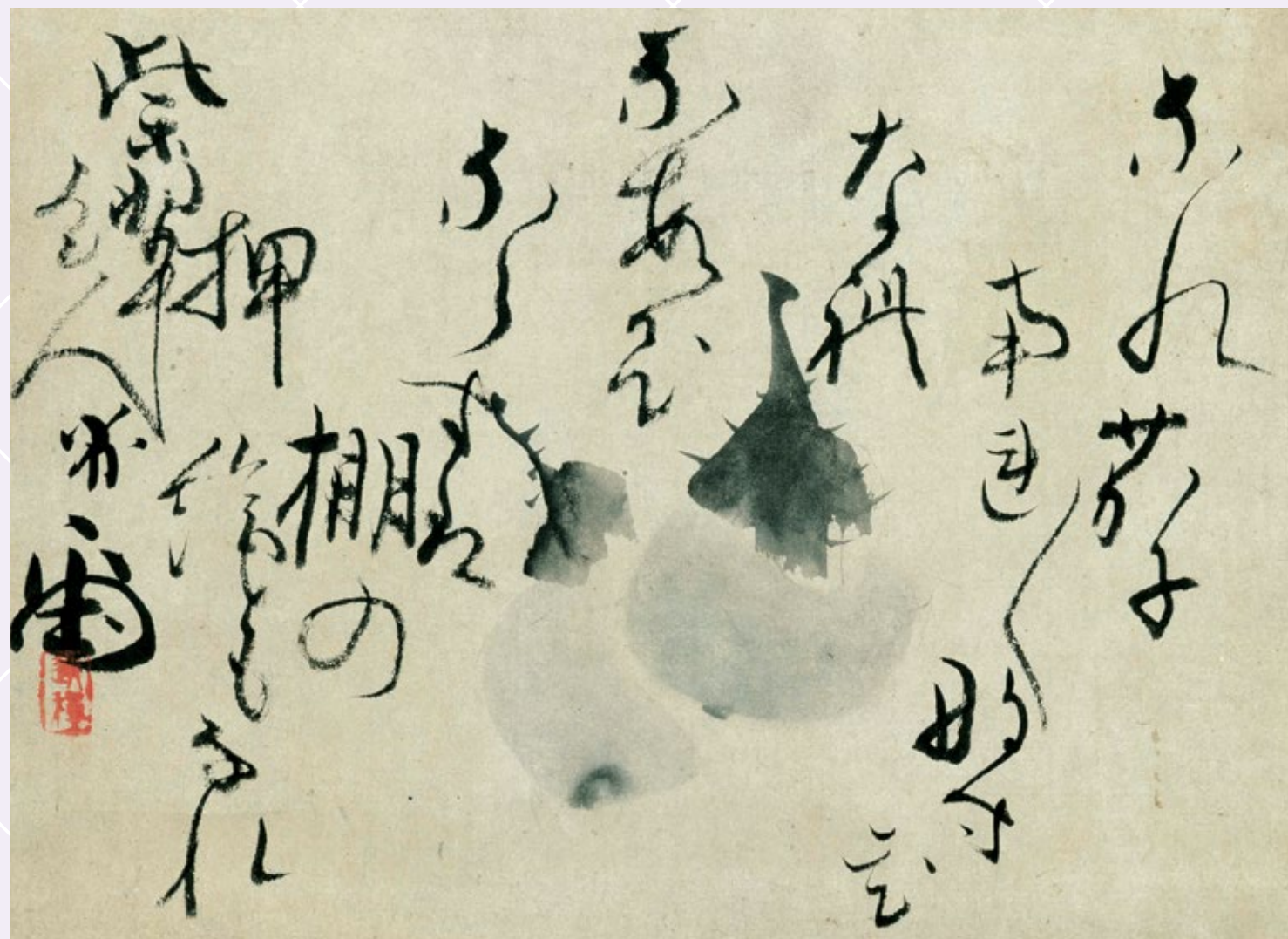
みずみずしくて可愛いナスがふたつ並んでいます。それを取り囲むように文字が躍っています。「なれ茄子 なれなれなすび なれなすび ならずば棚の押絵ともなれ」「ならずば」と言っていますが、ちゃんとふたつ、実がなっていますし、のびやかな文字もなんだかうれしそう。それとも、これはナスがすすくと育って実をつけるためのおまじないの絵なのでしょうか。もしも実をつけなかったら、この絵を切り取って厚紙に貼り、押絵にでもしようなんて、よほどナスが好きみたいです。よく見ると、「ならずば」の「す」の字の横棒が傾き、ナスのヘタとつながっています。きっとわざとつながいなのでしょう。書と絵が混然一体となって見る者をなごませてくれます。尾形乾山は琳派を代表する画家である尾形光琳の弟で、陶芸にすぐれた才能を発揮しましたが、絵画においても理知的な兄の画風とはまた異なった、愛すべき小品をいくつも残しています。その代表作は、この「茄子図」と同じく当館の松永コレクションに含まれる「花籠図」（重要文化財）ですが、「花籠図」は画面も大きく、ちょっと気圧されるほどの作品なので、自分の部屋に飾ってみたいと思うのはこっちかもしれません。「なれなすび」の歌の最後に「紫翠

読 む か

老人省（花押）」とサインし、「逃禅」の朱字長方印を押しており、晩年の作とわかります。ところでこのナスビ。みずみずしいですし、えらく丸っこいので、浅漬けが絶品でナマでも食べられる水ナスかもしれません。江戸初期には泉州を中心に上方で本格的に栽培されはじめたらしく、京都にいた乾山が育ててもおかしくはありません。でも、よく見るとヘタにトゲが生えています。これ、どうやら丸ナスみたいです。京野菜の加茂茄子かもしれません。おいそうですね。どのように料理しましょうか。皮ごと輪切りにして茹でてから油でいため、唐辛子味噌を塗って食べる 鴨焼や、ネギと一緒に味噌とあえてにゅう麺の具にしたり、大根みたいに切干にしたり。これ全部、江戸時代のレシピ本『料理秘伝抄』（1684 年刊）に載っていました。揚げ出しや煮びたしもいいですね。さすがにナス入りのカレーライスやバスタはナス好き乾山さんも食べてませんよね。

本作はコレクション展示室 古美術「春の名品展」で出品いたします（4月13日（火）－6月13日（日）松永記念館室）。

（総館長）中山喜一郎



《茄子図 一幅》

尾形乾山
Kenzan Ogata

DATA
生没年 1663-1743
技法・素材 紙本墨画淡彩 掛幅装
サイズ 縦 20.0 × 横 27.6cm
松永コレクション

読 ん で か ら

見 る か

CONTENTS

00 見てから読むか、読んでから見るか
尾形乾山《茄子図 一幅》

04 ミドロドロコ？
黒田家の名宝展

06 ミドロドロコ？
高畑勲展

07 2021年 福岡市美術館の、
これを見よ！

10 REPORT
シニアプログラム

11 LECTURE / FEATURE
12 CALENDAR / TIPS

EXHIBITION INFO

富田溪仙展

◆会期 2021年3月30日(火)
～5月9日(日)

◆会場 福岡市美術館 2F
近現代美術室 A

博多区下川端町出身の日本画家・
富田溪仙(1879-1936)。《御室の
桜》など、自由な筆遣いによる線
描とやわらかで豊饒な色彩の特
徴とする代表作のほか、スケッチ
も展示します。

福岡市では桜の開花にあわせて「福岡城
さくらまつり」という、福岡城址や舞鶴
公園の桜を楽しむ催しが毎年開催され
てきました。昨年は……想像通り。今年
はようやく開催です。桜もきっと喜んで
いるでしょう。当館もまさにこのエリア
にあります。館内でも野々村仁清 重
文《色絵吉野山図茶壺》、インカ・ショニバ
レCBE《桜を放つ女性》そして富田溪
仙《御室の桜》と、桜をテーマにした名作
を展示しています。ぜひ、体感しに来て
ください。

(館長 岩永悦子)

1



大事すぎて使えない

《梨子地三葉葵紋截金鞍・鐙》
江戸時代 17 世紀

金ピカで一見使った形跡がなさそうですが、裏側には塗装が剥がれているところもあります。これは蒔絵を施す前までは実用品だったものが、装飾後はほとんど使われなくなったことを示していると考えられます。この鞍と鐙は黒田長政が徳川家康から与えられたと伝わります。想像するに、家康の手元にあった頃は使われていたものの、長政に与えられて以降は家宝として大切に伝えられたという経緯があったのではないのでしょうか。



2

守りたいこの笑顔

《田植図蒔絵螺鈿料紙箱・硯箱》
江戸時代 17-18 世紀

書をしたためる為の紙（大）と硯（小）を納める箱のセットです。このような文具箱を飾る絵柄としては花鳥や貴公子などが一般的ですが、本作の場合はなぜか田植え…。ちょっと渋すぎる気もします。実は田植えをテーマにした作品は昔からあって、「偉い人は庶民の暮らしぶりに思いをはせるべし」という考えに基づくといわれています。本作に描かれた人々はみんないい笑顔。これを使った殿様／姫様は「この笑顔を守りたい」という思いを強くしたことでしょう。



3

アクション8割 コメディ2割

《韃靼人狩獵図屏風》
江戸時代 17 世紀

韃靼人（中国北方の騎馬民族）が馬を乗り回して狩をしています。このような勇ましいテーマはいかにも武将が好きそうですが、細かく見てみると、ありえないほどの大ジャンプをしていたり、おじさんたちが喧嘩していたりとコメディチックな場面もちらほらあります。このコメディ要素がなかなかにくせ者で、というのも、屏風を飾る場面がかなり制限されると思うのです。真面目な式典はまず無理でしょうし…、ひょっとして宴会で飾ったりしたのかも！?



EXHIBITION INFO

- 黒田家の名宝**
- ◆会期 2021 年4月13日（火）～5月30日（日）
 - ◆会場 福岡市美術館 1F 古美術企画展示室

2

1F

黒田資料とは

旧福岡藩主であった黒田家に伝来した宝物で、昭和 53 年（1978）に黒田長禮氏夫人茂子氏より寄贈（一部購入、一部寄託）された。現在、古文書や武器武具、藩主肖像など黒田家や福岡藩政に関わりの深い歴史資料は福岡市博物館で、絵画や茶道具、調度品といった美術としての側面が強い作品は当館で保存・展示されている。

持ち主の気もちになりきってみる

DATA
作品名 竹長春花文蒔絵筆箱（源氏物語入）
時代世紀 江戸時代 17 世紀
技法 木胎漆塗
サイズ 高 26.9 × 縦 20.1 × 横 39.8cm
コレクション 黒田資料



作

品鑑賞をより楽しんでいたために「どれくらい／どのように使われていたのか？」に注目してみる、という方法があります。

例えば、《竹長春花文蒔絵筆箱》という作品を見てみましょう。全面に蒔絵（漆で金属の粉を定着させる技法）によるデザインが施された豪華な筆箱ですが、注目したいのはその中身です。この筆箱には6つの引き出しがあり、中には古典文学として著名な『源氏物語』の冊子が54冊（1話につき1冊）収められています。これらの冊子の中には、綴じ紐が切れていたり、ページをめくった跡が残っていたりと読まれた痕跡がしっかりと残るものもあれば、ほとんど開かれていないと思われるものもあります。総じて、物語の序盤や有名なストーリーは熱心に読まれている一方で、後半になるにつれて読まれない



「桐壺」の帖。題名を記した貼紙がはがれ、ページの綴じ紐も切れるなど、他の帖よりも傷んでいる。物語の最初の帖であり熱心に読まれたのだろう。



「浮舟」の帖。貼紙や綴じ紐もしっかりしていて、傷みは少ない。物語の終盤、光源氏の死後の話であるため、あまり読まれなかったのかもしれない。

なっていくようです。ひよっとすると、頑張って読み始めたものの途中で挫折して読むのを止めてしまったのかもしれない。このように作品に残る痕跡から、当時、どれくらい／どのように使われていたのかを想像できるケースは少なくありません。

ここでは調度品を紹介しましたが、本展では他にも様々なジャンルの作品を紹介いたします。武具や装束であれば「実際に戦で身に着けるとどんな姿だったのだろう?」。絵画であれば「どんな部屋に飾ったのだろう?」、あるいは「どんなイベントで飾るのが相応しいだろう?」。茶道具であれば「お茶会に誰を呼んだのだろう?」などなど色々想像（妄想?）を膨らませながら見てみると、何百年も前の人々のことが身近に感じられるのではないのでしょうか。

本展では、当館の古美術コレクションの柱の一つである「黒田資料」の中から選りすぐりの名品を展示します。本展をより深く楽しんでいただくために、大名道具を鑑賞するコツを「紹介いたします」。

文学芸員（古美術担当） 宮田太樹

《 特別展 》

今年度で開催する展覧会から3つをピックアップ。

担当学芸員が、内容や思いを語ります。

詳細は決まり次第ホームページなどで随時お知らせいたしますので、ご期待ください。

没後50年 「電力王・松永安左エ門の茶」

◆会期 2021年10月9日(土)～11月21日(日)

◆会場 福岡市美術館 2F 特別展示室



重要文化財 野々村仁清
《色絵吉野山図茶壺》
江戸時代



《青井戸茶碗 銘「瀬尾」》
朝鮮王朝時代



重要文化財 尾形乾山 《花籠図》 江戸時代



松永安左エ門

松 永安左エ門(1875 - 1971)は、戦前戦後の日本の電力界で活躍した実業家であるとともに、「耳庵」と号する茶人でもありました。電力界の第一線を退き、本格的に茶の湯の世界に足を踏み入れたのは還暦が近づく昭和9年(1934)頃。埼玉に構えた柳瀬山荘に雌伏するや破竹の勢いで名品を蒐集し、戦中も茶の湯三昧の日々を送りながら、茶人としての名声を上げてゆきました。戦後、電気事業再編成を主導し「電力の鬼」と呼ばれた頃も、小田原に構えた老樗荘で、激務の隙を縫って自由無碍の茶を愉しみました。名品蒐集の情熱も晩年まで衰えることはなく、松永記念館という美の殿堂に結実しました。本展は、松永安左エ門の没後50年にあたる2021年に開催する回顧展です。松永コレクションの美術品を中心に、実業家・茶人両側面から松永の足跡を辿ります。

主任学芸主事(古美術担当)後藤恒

EXHIBITION INFO

高畑勲展—日本のアニメーションに遺したもの

◆会期 2021年4月29日(木・祝)～7月18日(日)

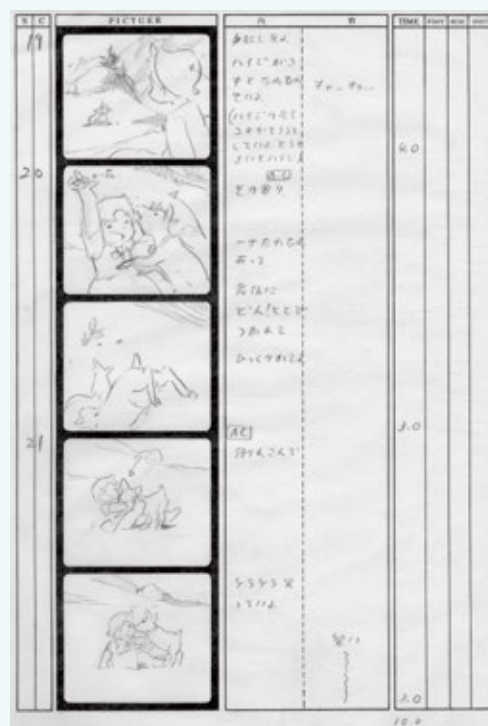
◆会場 福岡市美術館 2F 特別展示室

—— 昨年の「富野由悠季の世界」に続き、日本のアニメーションシーンを牽引してきた大監督の展覧会が当館で開催されます。高畑勲監督(1935-2018)は、日々の生活の中の人物の行動や感情を、アニメーションという動く絵の連続の中にきめ細かく描写したことで知られます。この展覧会では、絵コンテやレイアウト、原画などこれまでに発表されてこなかった資料から、高畑の演出術にせまる構成になっています。他の多くのアニメーション作家たちがキャラクターを動かすことで物語性を高めていったのに対して、高畑は“彼らが存在する世界そのもの”を描きたかった作家だと言えるかもしれません。例えば「アルプスの少女ハイジ」では、数カットで手際よくハイジが住む家の様子を見せることで、その後視聴者はハイジの暮らしをイメージすることができるようになります。



「平成狸合戦ぽんぽこ」イメージボード
©1994 畑事務所・Studio Ghibli・NH

ます。登場人物がいる世界が丁寧に描写されることで、見ている人はその中に思わず入り込んでしまいます。今回展示される絵コンテからは、高畑がそれを常に意識的におこなっていた様子が伺えます。また、その世界をつくりあげるために描かれた風景にも、ぜひ注目してみてください。「母をたずねて三千里」での南米の乾いた空気から、「平成狸合戦ぽんぽこ」での湿り気を感じる日本の景色、「かぐや姫の物語」でのまるで現代アートのような省略された技法まで、高畑は優れたアニメーターと組むことで、作品にピッタリの世界を作り出してきました。アニメは、監督が撮りたいものだけがフィルムに映っています。「なぜこのような絵にしたのだろうか？」と考えながら本展を鑑賞した後、ぜひ、高畑の映像作品を見直してみてください。今まで気が付かなかった別の視点が見つかることでしょう。



「アルプスの少女ハイジ」絵コンテ
©ZUNYO・「アルプスの少女ハイジ」の監督を務めた高畑勲とは、どのようなアニメーション作家だったのか。
多数の未公開資料を見ることができ、当館にて開催されます。

絵を描かないアニメ監督が
作品で実現したかったことは？

映画「太陽の王子 ホルスの大冒険」(1968)、「火垂るの墓」(1988)、「かぐや姫の物語」(2013)や、テレビアニメ「アルプスの少女ハイジ」(1974)の監督を務めた高畑勲とは、どのようなアニメーション作家だったのか。多数の未公開資料を見ることができ、当館にて開催されます。

2F

2F

1

かぐや姫の物語 ©2013 畑事務所・Studio Ghibli・NDHDMK

今年度開催予定の教育普及プログラムから4つをご紹介します。

新型コロナウィルスの流行で人と人が直接関わる機会が奪われていますが、

当館では対策をしながら安全に活動を実施しています。昨年からオンラインを使った活動も始めました。

どこでも美術館

今年度もオリジナルの美術鑑賞教材ボックスを持って、特別支援学校や公民館へ出かけます。本物そっくりな所蔵品のレプリカを鑑賞したり、東アフリカの布カンガをまったり。美術が楽しくなるプログラムが満載です。教材の貸出もしているので、利用してみたい学校や施設のみなさん、お申し込みお待ちしております。

※詳しくはホームページの「学校向けプログラム」をご覧ください。



公民館での活動の様子

おもしろキャプション

展示作品を見ると、隣に「キャプション」と呼ばれる解説文があることをご存知ですか？当館ではこの「キャプション」に注目し、新しい取り組みを始めています。その名も「おもしろキャプション」。当館コレクション展示の中で、学芸員の私的なコメントを似顔絵付で紹介しています。不定期で新しいものにも変わりますので、探してみてくださいね。



学芸員の似顔絵が入った「おもしろキャプション」

夏休みこども美術館 2021

「これなあに？謎がいっぱい、古い美術」

◆会期 2021年7月20日(火)～9月12日(日)

◆会場 福岡市美術館 1F 古美術企画展示室

どうやって使うの？だれを描いているの？古い美術の世界には“謎”をもつ作品があります。今回の夏休みこども美術館では“謎”をテーマに作品を紹介します。作品をよくみて考えると、おもしろい気づきや発見があるかもしれません。期間中にはスペシャルワークショップも開催するので楽しみに！



昨年の「夏休みこども美術館 2020」ワークショップの様子

いきヨウヨウ講座

◆開催時期 2021年6月、2022年3月

65才以上を対象にした、美術を通して心をいきいきさせる体験型のプログラムです。今年度は6月と来年の3月に2回開催します。6月は版画をテーマにしたプログラムを企画しています。昨年は、コロナ禍で自宅過ごす時間が長くなると、身体が動きにくくなって心も弱ってくる、なんて話をよく耳にしました。美術館で心をいきいきさせましょう。



2019年度のいきヨウヨウ講座の様子

田部光子展

◆会期 2022年1月5日(月)～3月21日(月・祝)

◆会場 福岡市美術館 2F 近現代美術室 A・B

「女性の学芸員がいても、女性の美術家は美術館ではなかなか取り上げられないからね」これは福岡市美術館に就職して初めて田部光子さんにご挨拶したときのこと。学生時代、フェミニズム美術史を学んでいた私は、田部さんのこの言葉に身の引き締まる思いがしました。

「この美術館には子どもが楽しめる場がないのよね」館内でもキッズコーナーの必要性について議論を始めた頃でした。田部さんとの会話やその視点に、私は刺激を受け、示唆を得てきました。言葉だけではありません。田部光子という美術家は作品制作と発表によって、様々な活動によって、社会に働きかけ、現在まで突き進んできました。

本展覧会では、九州派時代の作品《人工胎盤》(1961年/2004年再制作、熊本市現代美術館蔵)を含む代表作から最近作までを集め展示するのはもちろん、今まであまり言及されてこなかった1970-80年代の活動にも光を当てます。作品・資料から浮かびあがるのは、不平等に抗い、人々の背中を押し、何より楽しみながら世の中を変革していこうという貫いた姿。日々、鼓舞されながら展覧会の準備を進めています。

学芸員(近現代美術担当) 正路佐知子



《ブラカード》1961年

《Sign Language》1996/2010年



《魚族の怒り》1959年

シンガポールスタイル：1850-1950

リー・コレクションとクスマ・コレクションより(仮称)

◆会期 2022年1月19日(水)～3月27日(日)

◆会場 福岡市美術館 1F 古美術企画展示室

バジュ・パンジャン(L.C.) L.C. リー・コレクション K.C. クスマ・コレクション

福岡市美術館の染織コレクションといえば、1998年～2005年にかけて寄贈していただいた、インドネシアのパティックやスマトラの染織を中心とした、クスマ・コレクションが長くその代表でした。エイコ・アドナン・クスマさんは、日本からインドネシアに嫁いだ、パティックの世界的コレクターです。10年後の2015年にシンガポールのリー・キップリー夫妻が、東南アジアの中国系移民である「プラナカン」の女性が身に着けた、バジュ・パンジャン(ひざ丈の長上衣)を中心としたコレクションを寄贈してくださいました。リー・コレクションは、御夫妻の三男で、染織研究者として著名な、ピーター・リー氏の目を通して形作られたものです。

衣装として見ると、リー・コレクションはトップス中心で、クスマ・コレクションはボトムス中心。ふたつのコレクションをコーディネートして、19～20世紀にかけてのファッションとしてご紹介します。お楽しみに！



クバヤ(L.C.)とサロン(K.C.)

館長 岩永悦子

LECTURE

つきなみ講座

April - June 2021

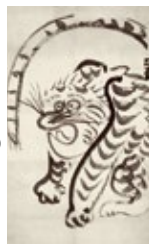
毎月1回、当館館員が、自身の仕事、展示、研究、関心ごとに
ついて語ります。聴講無料。直接会場にお入りください。

※定員等とは変更になることがあります。
詳細は美術館ホームページをご確認ください。

仙厓さんのすべて(2)

- ◆日時 5/15(土) 15:00~16:00
- ◆会場 ミュージアムホール(定員180人)
- ◆講師 中山喜一郎(総館長)

仙厓義梵《虎図》江戸時代 19世紀



バリアフリー ギャラリーツアーを やってみて

- ◆日時 4/17(土) 15:00~16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員54人)
- ◆講師 鬼本佳代子
(主任学芸主事・教育普及担当)

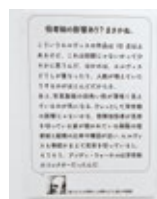


バリアフリーギャラリーツアー
「視覚障がい者のためのおしゃべりと手ざわりのツアー」の様子

4月

読んでみたくなる展示作品の解説文 「キャプション」のいろいろ

- ◆日時 6/19(土) 15:00~16:00
- ◆会場 レクチャールーム(定員54人)
- ◆講師 崎田明香
(学芸員・教育普及担当)



福岡市美術館の「おもしろキャプション」

6月

FEATURE

福岡ミュージアムウィーク2021

5月18日の「国際博物館の日」を記念して、福岡市内の美術館・博物館が連携してイベントを開催する「ミュージアム・ウィーク」。今年は20館が参加します。当館では、オンラインでの作品紹介、バリアフリーギャラリーツアーなどのほか、設置予定の彫刻作品、インカ・ショニバレ CBE 作《ウィンド・スカルプチャー (SG) II》に関連した講演会を行います。

- ◆日時 5/18(火)~5/30(日)

詳細は、当館のホームページや市政だよりをご覧ください。

福岡ミュージアムウィーク

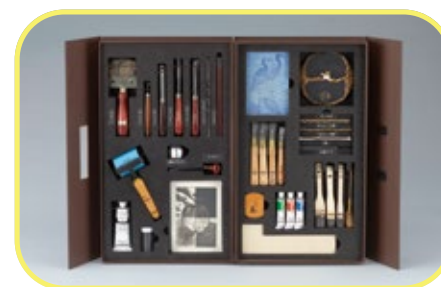
第7回 いきヨウヨウ講座

65歳以上の方を対象としたシニア向け講座です。
今回は、銅版画のワークショップを行います。
所蔵作品の鑑賞を楽しんだ後、作品作りにもチャレンジします。

- ◆日時 6/6(日)、6/13(日) (2日通して実施)

詳細は、当館のホームページや市政だよりをご覧ください。

いきヨウヨウ講座



どこでも美術館
版画ボックス
木版・銅版

福岡市美術館ミュージアムイベント協賛企業・団体



オンラインで

認知症対応プログラム

やってみました

昨年度、福岡市博物館と福岡アジア美術館と共に、オンラインで認知症患者のための回想法プログラムにチャレンジしました。福岡市美術館では、65歳以上の方向けのプログラム「いきヨウヨウ講座」はやっていきますが、認知症を患っている方へのプログラム実施はこれが初めてです。



話をされたのです。美術館においてになる前も、とても楽しみにしておしゃべりをされたということ、ご家族も驚かされていました。それを見聞きして、当館でも、認知症患者のために何かできる、と思ったのです。

まず、初回は福岡市博物館からレコードプレーヤーを施設に持ち込んで懐かしい歌謡曲を聞いてもらいました。そして2回目は福岡アジア美術館の所蔵作品から、「家族」をテーマにした作品図版を見たいだいて、家族のことを思い出していただくという内容でした。参加者の皆さんは、思った以上に鮮明に昔のお話をされ、施設のスタッフの方も「今日の話は初めて伺いました」ということが起こりました。

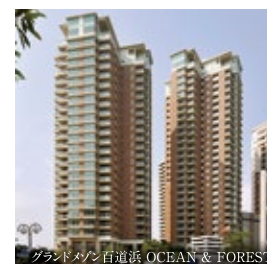
このプログラムは「文化庁 令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業『文化芸術収益力強化事業』歴史博物館・自然史博物館・美術館における認知症対応プログラム実践事業」として実施しました。



グランドメゾン清水ガーデンシティフォレストゲートⅡ



グランドメゾンThe大塚



グランドメゾン百道浜 OCEAN & FOREST



グランドメゾン薬院レジデンス

時と共に美しく、積水ハウスの分譲マンショングランドメゾン



「グランドメゾン倶楽部」会員募集中

お問い合わせ 0120-143-377

グランドメゾン

検索



積水ハウス株式会社

CALENDAR

TIPS

おまけ美術館

福岡市美術館をもっと楽しむための、
うれしい小さな情報を
取り上げます。

福岡市美術館オリジナルグッズ 「Master Road」に新作登場

お子様から大人まで気軽に人形の絵付け体験が楽しめる素焼きの博多人形「Master Road」に新作が登場しました。
レオナルド・ダ・ヴィンチ《仰臥裸婦》をモチーフにした、澄ました顔が可愛い「フジタの猫」、松永コレクションから《地獄草紙断簡・勘当の鬼》をモチーフにした、ポップなおなかがチャームポイントの「勘当の鬼」。どちらも入荷直後に売り切れてしまう程の人気商品です。創業100年を超える博多人形工房の中村人形が制作・監修をしました。水彩絵具・色鉛筆・アクリルガッシュ等、思い思いの色で自由に彩色し、オリジナルの博多人形を作ってみましょう。彩色お手本帳入ります。



特別展示室	コレクション展示室 近現代美術			コレクション展示室 古美術		
	近現代美術室 A	近現代美術室 B	近現代美術室 C	企画展示室	松永記念館室	東光院仏教美術室
4/29 - 7/18	開催中: 5/9 富田溪仙展 通期 コレクションハイライト	開催中: 5/9 織田廣喜と平野遼 (西本コレクションより) 新収蔵品展 通期 コレクションハイライト	開催中: 5/9 コレクションハイライト	開催中: 4/11 企画展 門田コレクション 4/13 - 5/30 新収蔵品展	開催中: 4/11 企画展 門田コレクション 春の名品展 4/13 - 6/13 黒田家の名宝	通期 東光院のみほとけ
5/18 - 8/1	5/18 - 8/1 近代日本の美術・明治から昭和初期まで①	5/18 - 8/1 野見山晴治・豊福知徳・菊畑茂久馬ー地方と海外のはざまで 通期 コレクションハイライト	5/18 - 8/1 コレクションハイライト	6/1 - 7/18 田中丸コレクション 古唐津の味わい	6/15 - 8/29 ふくろものー壺と瓶ー	

本誌掲載の催しは当館主催のものです。他の催しやイベントの詳細は、当館ウェブサイトですべてお知らせします。また、催しの名称、会期などは変更となる場合がございます。

ふくおか応援寄付

福岡市美術館が魅力的であり続けるためには、今後とも機会あるごとに美術品を収集することが不可欠であり、そのための資金として皆さまから「ふくおか応援寄付」(ふるさと納税による寄付)を募集しています。

わたくしclub



会員募集中!

会員になると、展覧会や映画などの料金がオトクに!もっと身近にアートのワクワクを感じてみませんか。福岡市文化芸術振興財団のホームページ(<http://www.ffac.or.jp/wa/>)またはミュージアムショップ店頭で入会受付中。

開館時間 9:30～17:30
(7月～10月の金・土曜日は 9:30～20:00)
※入館は閉館の30分前まで。
休館日 月曜日 / 年末年始 (12/28～1/4)
※月曜日が祝日・振替休日の場合は
その後の最初の平日
〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
TEL 092-714-6051 (代表) FAX 092-714-6071
www.fukuoka-art-museum.jp

福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

